

1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年指導・相談事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
予算科目	01-030105-040000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	悩みを抱えた青少年・問題行動をしている青少年	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
悩みを抱えた青少年や保護者から相談を受けることで、その不安や悩みを和らげています。また、問題行動のある青少年に愛のひと声をかけるなど、立ち直りを助け、犯罪に関わらないよう守っています。		青少年の非行の未然防止と早期発見、早期指導のため、青少年補導員などによる巡回指導を行います。また、青少年の悩みを早期に解消するため、青少年相談員による相談活動を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談開設日数						単位	日
	説明・算定式	青少年相談室を開設した日数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			296	297	297			
活動指標②	指標名	愛護指導回数						単位	回
	説明・算定式	愛護指導を実施した回数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			400	430	430			
成果指標①	指標名	相談件数						単位	件
	説明・算定式	電話（ヤングテレホンを含む）や来室により相談を受けた件数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			800	825	850			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
愛護指導の強化により、愛護指導回数を増加し、青少年の非行の早期発見及び早期指導を図った。一方で相談件数は減少した。									
平成19年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	悩みを抱えた青少年からの相談や、問題行動のある青少年への声かけは依然として多い水準となっており、引き続き事業を行っていく必要がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	悩みを抱えたり、問題行動のある青少年は増加傾向にあるとも言われており、それに対応するため継続して行う有効性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	継続して事業を行うに当たり、現在においても限られた人員での交代勤務を行っており、執行体制の妥当性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	嘱託員賃金の削減は難しいが、愛護指導報酬の見直しは検討する余地がある。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

潜在件数が多くあるものの、相談件数が減少傾向にあるため、相談室の啓発活動を強化する必要がある。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				補導員や相談員による巡回指導・相談活動	補導員や相談員による巡回指導・相談活動	補導員や相談員による巡回指導・相談活動		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	19,271	19,472	19,185	0	0
事業費 (A)		0	0	19,271	19,472	19,185	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	100.45				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.95	0.95	0.95	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	7,972	7,972	7,972	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	27,243	27,444	27,157	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 警察等関係機関との連携をより強化しながら、引き続き事業を進めていく。	
平成21年度取組方針	
相談室及び非行化防止についての啓発活動に努める。また、警察等関係機関との連携をより強化し、より適切な対応ができるような体制づくりに努める。	
課長コメント	青少年の健全育成及び非行化防止のために、事業周知のPRに工夫をし、現状規模で継続していく。